

多文化ソーシャルワーカー について

多文化ソーシャルワーカーって？

多文化ソーシャルワーカーとは、「外国人が自国の文化と異なる環境で生活することにより生じる心理的・社会的問題に対して、ソーシャルワークの専門性を生かし、相談から解決まで継続して支援する人材」のことです。

ソーシャルワークの技術を用いて、相談者の気持ちを受け止めながら、相談者が抱えている問題が何か、どのような状況にいるのかを把握し、相談者の問題解決の意欲や意志を尊重し、自立した生活に向けて適切な関係機関やサービスにつながっていけるようにサポートしていきます。

あくまでも相談者自身が問題解決をしていく主体ですし、相談者と多文化ソーシャルワーカーだけで問題解決できるわけでもなく、地域にある機関やサービスにつながって、様々な人たちと相互関係を築くことが必要です。そのために、他機関の関係者と連携しながら安心して暮らせる環境づくりを目指しています。

愛知県国際交流協会の多文化ソーシャルワーカー

愛知県国際交流協会内にある多文化共生センターでは、多文化ソーシャルワーカーが外国人からの相談対応をしています。また、外国人からの相談を受けている機関や相談窓口の人たちからの問い合わせにも応じています。

多文化共生センターは、外国人に関するよろず相談の場です。センターには、在留資格の手続き、労働トラブル、健康保険制度、生活困窮、母子家庭の生活問題、教育・進学、結婚・離婚の手続き、DV、交通事故など、多種多様な相談が入ってきます。

多くは制度の概要や手続きを説明したり、専門の相談機関を紹介したりするだけで終わるものですが、中にはいくつもの問題が重なって、単なる情報提供や助言をただけでは解決するのが難しいと思われる相談もあります。引き続きサポートが必要と思われ、相談者からの希望がある場合には、多文化ソーシャルワーカーが継続的に支援をします。自立した生活に向けて、相談者が必要な関係機関やサービスに繋がることができるよう、関係調整や同行支援をしたり、時には相談者の代弁などをしたりします。また、必要に応じ、関係機関等に相談者の本国の状況も理解してもらうように働きかけるほか、相談者が日本の機関や制度を正しく理解した上でサービスを利用したり、安心した生活ができたりするように支援します。(→P.129)



あいち多文化ソーシャルワーカーの会

愛知県では、2006(平成18)年度から2011(平成23)年度まで多文化ソーシャルワーカー養成講座を実施し、計108名が受講しました。受講者は、市町村や国際交流協会の外国人相談員、市区町村役場の職員、学校の教師や語学相談員、女性相談員、母子支援員、医療ソーシャルワーカー、外国人支援団体や学習支援団体のスタッフなど、幅広い分野におよびます。

この講座の修了者が自主的に集まり、多文化ソーシャルワーカーの活動を行うための技術および知識の向上、多文化ソーシャルワーカー養成講座修了者のネットワーク形成のために任意団体として結成したのが、「あいち多文化ソーシャルワーカーの会」です。勉強会、情報交換会、外国人の生活向上を目的とした諸活動を行っています。